財団いづも
第 23 号
発 行 所
公益財団法人いづも財団
〒699-0701
島根県出雲市大社町杵築東283
大社國學館内
TEL　0853－31－4346
FAX　0853－31－4348
info@izumozaidan.or.jp
編集発行人
山 崎 裕 二
いづも財団公式ＨＰ

標柱が建てられ、整備が進む稲佐の浜。 訪れる観光客は年々増加している。
（写真提供：勝島徹正氏　大社町美術協会写真部長）

変わりゆく自然景観のなかに歴史をみる！

理事長　古瀬　誠

変化が少ないと思われている自然景観も、長い歳月の間に少しずつ変化し、数百年後には異なった景観が出現することがあります。そのひとつの例が稲佐の浜（出雲市大社町）です。

出雲大社から約一キロメートル西方にあるこの浜は、国譲り神話の舞台として、また神在月（かみありづき）に神迎え神事が斎行される浜として、その名は全国的によく知られています。また陸続きとなった「弁天島」と合わせて、その景観の美しさから「日本の渚百選（なぎさひゃくせん）」にも選ばれ、訪れる観光客の目を楽しませています。一方、観光客のなかには、「砂浜海岸にどうしてこのような岩山ができたのか？」と不思議がる人も多いようです。

そこで、次にこの「稲佐の浜」と「弁天島」の来歴を考えてみたいと思います。八百年前の稲佐の浜の海岸線は、現在よりも約三百メートル以上も手前にありました。したがって、その頃の「弁天島」は、「沖ノ島」とか「沖御前（おきのごぜん）」と呼ばれるほど、稲佐の浜のはるかに沖合にある島でした。それが、長い歳月の間に土砂の流入や潮流の変化等により浜が少しずつ埋まり始め、四十年前ごろから今日のように陸続きになったというわけです。

ちなみに、「弁天島」という呼び名は、戦国大名の尼子経久（あまごつねひさ）がこの島に「水神」である弁財天（仏神の女神）を祀ったことに由来します。出雲大社の造営遷宮に当たって、稲佐湾に持ち込まれる用木用材等の安全輸送と豊漁を願ってのことでした。

その後、「弁財（才）天島」という呼び方が広がりますが、明治初年の神仏分離令により、正式島名は「沖御前」となり、「沖御前神社」には弁財天と似た神格をもつ「豊玉姫命（とよたまひめのみこと）」が祀られました。しかし、地元の人たちの間では、今日でも親しみを込めて「弁天島」とか「弁天さん」と呼ばれています。

いづも財団ニュース

公開講座「古代出雲の歴史と地域文化」が終了しました！

全五回

「出雲の歴史文化を学ぶ！」シリーズの第二弾として、今年度は「古代出雲の歴史と地域文化」をテーマに、公開講座を開催しました。第三回目以降の講座の概要をお知らせします。

第三回講座（令和四年十月二日㈰）受講者数 八四名

会場：大社文化プレイスうらら館

主題

王権神話と国造出雲氏の西遷

演題Ａ　「国譲り」神話と神賀詞奏上

講師　平野　芳英　先生（元荒神谷博物館副館長）

記紀神話にある「国譲り」の後、出雲国造と朝廷の関係はどうであったかを、「神賀詞奏上」をとおして語っていただきました。この「神賀詞奏上」は臣下から天皇に奏上し、天皇の長寿と治世の繁栄を祝福する従属の誓詞でもありますが、研究的には細部においてはまだ異なった見解もあるようです。

先生からは、①神賀詞奏上がいつ始まったか、②どのように行われたかなど基礎的な点について教えていただきました。受講者の皆様は、このような話は初めて聞かれたのではないかと思います

演題Ｂ　意宇郡の郡司国造出雲氏の西遷

講師　平石　充　先生（県古代文化センター主席研究員）

国造出雲氏の西遷という難しいテーマを、筋道をたてて、分かり易く話していただきました。かつて意宇郡の郡司であり「熊野・杵築大社」の神事を司っていた出雲国造は、国衙が国造とは別人物を郡司に任命することとなり、国造出雲氏は出雲郡へ移住することになりましたが、その過程を詳細に説明していただきました。

国造出雲氏の西遷の時期に関しては、現在八世紀説と十世紀説の二つがありますが、今回は八世紀説を中心に紹介していただきました。

受講者の皆様からは、「たいへん興味深い講演だった」とか「国造が西出雲へ移住した理由がよくわかった」などの感想をいただきました

第四回講座（令和四年十二月十八日㈰）受講者数 五一名

会場：大社文化プレイスうらら館

主題

中世社会に向けての出雲の胎動

演題Ａ　荘園と公領

講師　井上　寛司（ひろし）　先生（島根大学名誉教授）

日本の古代・中世の土地制度の理解は重要ですが、学校現場では敬遠されています。複雑だからです。その点、先生は荘園を時期ごとに類型化し、わかりやすく説明していただきました。

「口分田（くぶんでん）」は当初は人頭税でしたが、生産力が向上すると土地税に転換し、やがてそれらは、「公田」と呼ばれるようになり、「公田」維持が国家目標になったという指摘は、受講者にとって目からうろこが落ちる思いでした。一方、荘園（私有地）は制限されましたが、領主は公田をはじめ家・村・山・川までをも含む領域を「荘園」とし、これが「中世荘園」であり、「古代荘園」と「中世荘園」とは全く異なるものであるという指摘は、受講者にとっては少なからぬ驚きだったと思います。

その後、このことを踏まえて、出雲大社領を事例に中世荘園の形成過程をわかりやすく解説していただきました。

演題B　武士の登場と出雲国

講師　田村　亨　先生（県古代文化センター研究員）

先生は、①武士とは何か、②武士はどのように生まれたか、③武士が政治的に進出したのはどうしてか、④出雲で武士はどのように活動したかについて、大鎧（おおよろい）などの視覚資料を使いながら、話していただきました。

④では、出雲で起きた武士による事件として、源義親（よしちか）の反乱を紹介していただきました。隠岐に配流された源義親が脱出し、出雲国庁を襲ったという事件であり、院は平正盛（平氏）を派遣して、源義親（源氏）を打ち取ったとのこと。平氏と源氏を手玉に取る院の政治力や、出雲でも義親に与同する武士がいたことを知り、興味をそそられました。

第五回講座（令和五年二月二十五日(土)）受講者数 六八名

会場：大社文化プレイスうらら館

主題　山岳信仰と平安仏教の世界

演題A　山岳信仰と修験道（しゅげんどう）の聖地・鰐淵山

講師　高橋　周　先生（出雲弥生の森博物館専門研究員）

平安期の仏教は、密教に代表されるように人里離れた山岳地で修行が盛んに行われました。先生は、平安期の山岳信仰が「日本古来の『山』に対する信仰」と結びついていたこと、またそのような「清浄なる神山」を修行の場とすることによって、験力を得ることができたのではないかとの見通しを示していただきました。

出雲地域でも鰐淵山（がくえんざん）の浮浪（ふろう）の滝を中心に「浮浪山（ふろうざん）」（北山）において修験僧による修行が盛んにおこなわれ、『梁塵秘抄（りょうじんひしょう）』にみられるように全国でも屈指の修行場となっていたことを知りました。

演題B　平安仏教と平安仏の世界

講師　的野　克之　先生

（県立石見美術館館長／松江歴史館学芸専門監）

先生には、「美術史学から読み解く平安仏」という観点から、特に平安前期の一木造（いちぼくづくり）の平安仏の見方考え方を教えていただきました。文献史料がなくとも、仏像の特色だけからこれだけのことがわかるのか、と驚きました。仏像の背後が加工されていないことの意味や、その根底には樹木に神仏が宿っているという思想があるからという指摘は、まさに驚きでした。おそらく受講者の皆様も同じ感想をもたれたのではないかと思います。平安仏について、私たちの知的好奇心を喚起していただきました。

令和元年度申請の助成金交付事業が完了しました！

皆様方からの会費や寄付金等は、島根県の歴史研究や伝統文化の保存継承活動に助成金として、活用されています。

令和元年度に申請があった医光寺総門（益田市）や観月庵・待合（松江市）、原本家住宅（安来市）の保存修理事業にも助成しています。

また、「中学生による吉兆さん」（出雲市）や「子ども神楽」（大田市）などの子どもによる伝統文化の保存継承事業などにも助成しています。

令和三年度をもって、これら九件の事業がすべて完了しました。財団では、各団体から提出された報告書をまとめ、『報告集』（第八集）として刊行し、法人会員や関係者に配布しました。

事務局に人事異動がありました！

事務局次長の梶谷光弘が令和五年三月三十一日をもって退職し、代わって坂本隆（前大社文化プレイスうらら館館長）が就任しました。したがって、令和五年度のいづも財団事務局のスタッフは次のようになります。

事務局長…山﨑　裕二　　事務局員…亀山　美雪

事務局次長…坂本　隆

令和5年度 いづも財団公開講座のご案内

令和３年度から令和８年度までの６年間をかけて、**「出雲の歴史と地域文化」**をテーマに、原始・古代から近・現代までの出雲の歴史・文化についての公開講座を開講しています。どなたでも受講できます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策のためマスクの着用を推奨します。また、やむを得ず中止になる場合もあります。最新の情報は、いづも財団ホームページをご覧ください。

第Ⅲ期「中世出雲の歴史と地域文化」　無料

会場は、いずれも**大社文化プレイスうらら館（出雲市大社町杵築南1338-9）**です　**※定員 各 130 名**

第１回　5月20日（土）　13:30 ～ 16:10

講座テーマ　**神仏習合と中世出雲神話の世界**

Ⓐ 中世出雲神話のなかの出雲大社と鰐淵寺（がくえんじ）
井上 寛司（島根大学名誉教授）
平安～鎌倉期になると神仏習合の世となり、全国各地で古代神話をモチーフにした中世神話（仏教説話）が創作された。中世出雲神話のなかで、出雲大社と浮浪山鰐淵寺（ふろうざん）はどのような関係にあったか、またそれはどう推移していったかを考える。

Ⓑ 神仏習合のなかの杵築稲佐浜と日御碕
岡 宏三（県立古代出雲歴史博物館専門学芸員）
神仏習合期の稲佐浜と日御碕はどのように考えられていたか。極楽浄土の入り口でもあるとともに、神々のより来る浜ともされた杵築稲佐浜と日御碕の二つの側面について考える。

第２回　7月22日（土）　13:30 ～ 16:10

講座テーマ　**西遷（せいせん）御家人と出雲大社三月会（さんがつえ）**

Ⓐ 西遷御家人が出雲にもたらした東国の信仰や文化
田村 亨（県古代文化センター主任研究員）
承久の乱の戦後処理や蒙古合戦の防備ため、多数の東国御家人が来往・定住したが、彼らの入部は出雲地域にどのような影響をもたらしたか。東国御家人の来住が出雲に与えた影響を、支配や信仰、文化の面から考える。

Ⓑ 出雲大社三月会を支えた人々と当番役の輪番制
目次 謙一（県古代文化センター専門研究員）
三月会は、出雲国最大の神事祭礼であった。その「まつり」を支えたのが「頭人（とうにん）（祭礼担当の地頭）」たちである。しかし、彼らは互いに贅（ぜい）を尽したために、破産する「頭人」も出現した。そこで、幕府は「頭人の輪番制」を命じ、「まつり」の簡素化を図ることとした。三月会と「頭人輪番制」の歴史的意義について考える。

第３回　10月7日（土）　13:30 ～ 16:10

講座テーマ　**出雲の国人領主と尼子氏の国内統一**

Ⓐ 山城からみた出雲の国人領主たち
高屋（たかや） 茂男（県立八雲立つ風土記の丘所長）
中世出雲には各地に多くの在地領主がいた。どのような領主がいたか、特色ある領主について山城と合わせて紹介する。また、山城のもつ機能を平城と比較しながら、軍事面や経済面などの諸点から考える。

Ⓑ 尼子氏の強大化と領国経営
山根 正明（島根県中世史研究会世話人）
戦国期、富田城を本拠とする守護代尼子氏は、国人領主や寺社勢力を制圧して出雲国内を掌握する。尼子氏の強大化の過程と領国経営の具体相を概観する。

第４回　12月17日（日）　13:30 ～ 16:10

講座テーマ　**中世出雲の水運の発達と尼子氏の対外交易港**

Ⓐ 中世出雲の水運の発達と港湾都市
長谷川 博史（島根大学教授）
中世になると生産力の向上にともない、人やモノの移動手段として水運が発達した。日本海水運や中海・宍道湖及び河川舟運について紹介する。また「籌海図編（ちゅうかいずへん）」等にみられる美保関や白潟（しらかた）、平田、杵築（きづき）などの港湾諸都市の特色も紹介する。

Ⓑ 尼子氏の対外交易港として栄えた宇龍浦と出雲鉄
岩成 俊策（県立島根中央高校教諭）
戦国末期になると尼子氏の交易港に指定された宇龍浦が光彩を放ってくる。交易港として栄えた宇龍浦の特質を、日御碕神社や出雲鉄の流通、またヒンターランド（後背地）としての杵築との関連から考える。

第５回　令和６年 2月24日（土）　13:30 ～ 16:10

講座テーマ　**毛利氏の出雲進出と杵築商人**

Ⓐ 出雲大社領と日御碕神社領の毛利氏刀狩
山崎 裕二（公益財団法人いづも財団事務局長）
毛利氏は豊臣政権の一大名として領国経営を行うことになったが、毛利氏は豊臣氏の検地・刀狩などの政策を忠実に進めたのか？毛利氏刀狩関係史料のうち、唯一遺されている地元の史料（佐草家文書）から毛利氏の政策意図を推察する。

Ⓑ 毛利氏公領の年貢米を管理した杵築商人たち
倉恒（くらつね） 康一（県文化財課世界遺産室専門研究員）
1591（天正19）年ころになると、出雲西部には毛利氏公領が多く置かれ、その年貢米を杵築商人が毛利氏から特権を得て独占販売をした。このような特権商人を「杵築御蔵本（おくらもと）」と呼ぶが、毛利氏と「杵築御蔵本」と国造家の関係について考える。

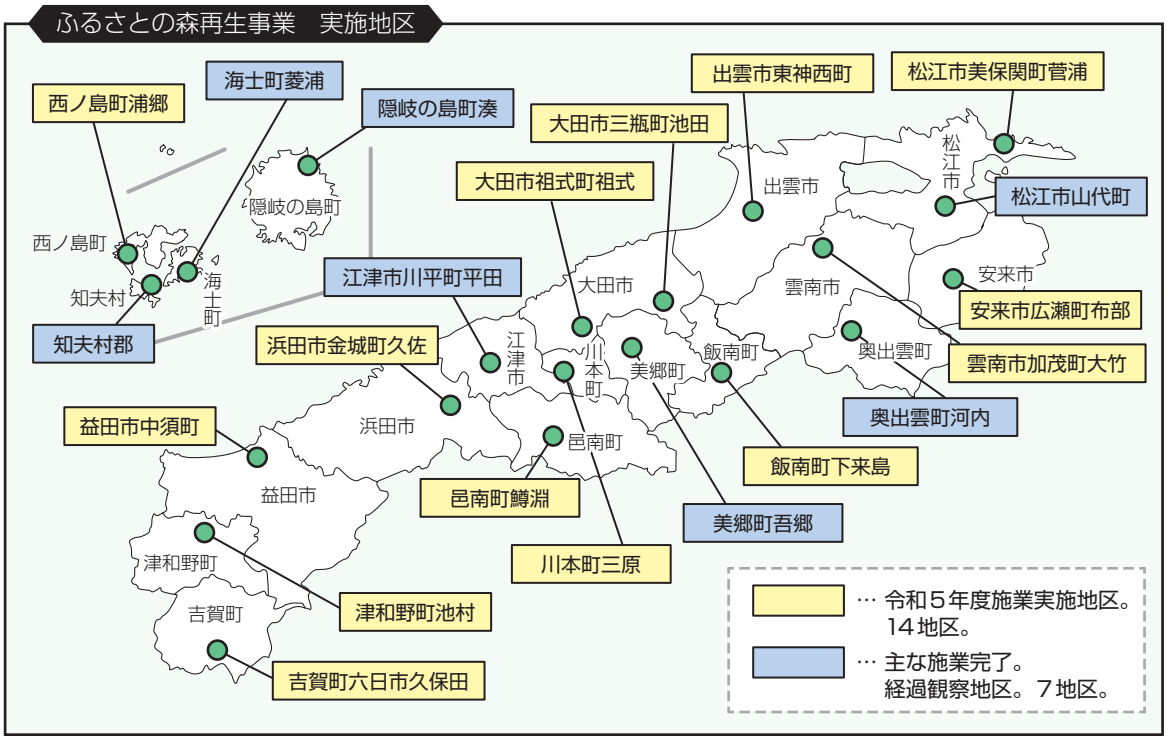
1）演題・講師は、変更になる場合があります。　2）講演時間はそれぞれ70分間です。

受講ご希望の方は、いづも財団事務局までお申し込みください。いつでも申し込みができます。ご希望の講座のみの受講も可能です。なお、お申し込みの際には、氏名、連絡先、電話番号、希望する講座をお知らせください。

皆様のお近くでも「ふるさとの森」が整備されています!!

出雲大社「平成の大遷宮」を記念し、平成25年度から始まった「ふるさとの森再生事業」も11年目を迎えました。令和５年度は県内13市町14地区で本事業が実施される運びとなりました。既に主な施業を終えた地区もありますが、今後も森林の育成状況を観察するとともに、地域の皆様に親しまれ、末永く継承されていく森林へと後押しできるよう、各市町村の皆様と共に広報活動や森林の活用にも力を注いでまいります。

ふるさとの森再生事業　実施地区



しまねの脱炭素の取り組みとして

島根県内全戸に配布される島根県政広報誌「フォトしまね」の令和４年秋号にて、本事業を紹介いただきました。

現在、全世界的に推進されるカーボンニュートラルは、私たち島根県においても、官民一体となって「しまねの脱炭素」の取り組みが進められています。

例えば、生活を支える化石燃料を使うと、大気中には地球温暖化の原因となる二酸化炭素が増えてしまいます。その対策のひとつとして、二酸化炭素を吸収する森林をさらに生かすべく、県内では様々な森づくり活動が進められています。

本事業は島根県CO_2吸収認証制度を活用して全市町村で事業をおこなっており、令和４年度は事業面積43.99haにおける下刈り・除伐の活動に対し、146.95トンのCO_2吸収認証書が当財団に対して交付されました。146.95トンは、1年間のCO_2排出量に換算すると、各世帯なら22.6世帯分、自動車なら63.9台分、人間なら459.2人分にもなり、本財団の森づくりによってそれだけのCO_2吸収に貢献したこととなります。

令和五年度会員名簿

（三月三十一日現在）

法人会員

旭日酒造有限会社（出雲市）
海士町（海士町）
有福神楽保持者会（浜田市）
アルファー食品株式会社（出雲市）
出雲大社（出雲市）
出雲大社近江分祠（滋賀県）
出雲大社大阪分院（大阪府）
出雲大社大阪分祠（大阪府）
出雲大社沖縄分社（沖縄県）
出雲大社教（出雲市）
出雲大社西郷分院（隠岐の島町）
出雲大社相模分祠（神奈川県）
出雲大社新十津川大教会（北海道）
出雲大社高津分祠（大阪府）
出雲大社東京甲子教会（神奈川県）
出雲大社東京分祠（東京都）
出雲大社広島分祠（広島県）
出雲大社福山分祠（広島県）
出雲大社松山分祠（愛媛県）
出雲大社与謝分祠（京都府）
出雲カーボン株式会社（出雲市）
出雲教（出雲市）
出雲ケーブルビジョン株式会社（出雲市）
出雲商工会（出雲市）
出雲ターミナル株式会社（アトネスいずも）（出雲市）
出雲土建株式会社（出雲市）
出雲國麺家（出雲市）
一畑電気鉄道株式会社（松江市）
一般社団法人　出雲観光協会（出雲市）
一般社団法人　松江観光協会玉造温泉支部（松江市）
今井印刷株式会社（鳥取県）
イマックス株式会社（出雲市）
岩成工業株式会社（出雲市）
海潮荘（雲南市）
影山商事株式会社（出雲市）
カナツ技建工業株式会社（松江市）
株式会社　いずも（観光センターいずも・いずも縁結び本舗）（出雲市）
株式会社　出雲かみしお本店（出雲市）
株式会社　出雲ポンプ（益田市）
株式会社　今井書店（松江市）
株式会社　ウッドベル（出雲市）
株式会社　エスティック（出雲市）
株式会社　ＬＰＣホテル＆リゾート（出雲市）
株式会社　大川（沖縄県）
株式会社　カウカウフードシステム（大阪府）
株式会社　かみありづき（出雲市）
株式会社　ケイショウ（出雲市）
株式会社　健菜厨房（出雲市）
株式会社　ご縁横丁（出雲市）
株式会社　山陰合同銀行大社出張所（出雲市）
株式会社　島根銀行（松江市）
株式会社　島根ワイナリー（出雲市）
株式会社　修美（京都府）
株式会社　出西窯（出雲市）
株式会社　ＪＵＴＯＫＵ（雲南市）
株式会社　新興出版社啓林館広島支社（広島県）
株式会社　ソノヤマ（出雲市）
株式会社　田部（雲南市）
株式会社　茶三代一（出雲市）
株式会社　中電工出雲営業所
株式会社　中筋組（出雲市）
株式会社　ひらた（出雲市）
株式会社　福原サービス（三重県）
株式会社　平安堂（出雲市）
株式会社　報光社（出雲市）
株式会社　馬庭建築設計事務所（出雲市）
株式会社　丸三（出雲市）
株式会社　ミック（松江市）
株式会社ミュージックオフィス河井（出雲市）
株式会社　めのや（松江市）
株式会社　やまもと（出雲市）
株式会社　ランコン（出雲市）
株式会社　ワールド測量設計（出雲市）
株式会社　和田珍味（大田市）
国指定大土地神楽保存会神楽方（出雲市）
熊野大社（松江市）
高野山真言宗道籠山迎接寺（松江市）
国際伝統武術連盟大和会（松江市）
楽浪文化財修理所（滋賀県）
島根県神社庁（出雲市）
島根県農業協同組合大社支店（出雲市）
島根中央信用金庫（出雲市）
しまね中央税理士法人　金山事務所（出雲市）
浄土宗松林山誓願寺（出雲市）
杉原石油株式会社（出雲市）
曹洞宗護国山十楽寺（出雲市）
大社ライオンズクラブ（出雲市）
大社ロータリークラブ（出雲市）
大成ロテック株式会社（松江市）
島根営業所（出雲市）
高橋歯科医院（出雲市）
玉造温泉旅館協同組合（松江市）
中国環境株式会社（出雲市）
特定非営利活動法人出雲学研究所（出雲市）
中島運輸機工株式会社（出雲市）
西日本旅客鉄道株式会社米子支社（鳥取県）
フェニックス・キャピタル株式会社（東京都）
福間商事株式会社（出雲市）
松江土建株式会社（松江市）
まるなか建設株式会社（松江市）
有限会社　荒木屋（出雲市）
有限会社　池田造園（出雲市）
有限会社　出雲観光タクシー（出雲市）
有限会社　一福（飯南町）
有限会社　柿田設備工業（出雲市）
有限会社　看雲楼（出雲市）
有限会社　草谷（出雲市）
有限会社　杉原本店（出雲市）
有限会社　俵屋菓舗（出雲市）
有限会社　東伯館写真場（出雲市）
有限会社　独立軒写真場（出雲市）
有限会社　永田石材（出雲市）
有限会社　日の出館（出雲市）
有限会社　福間秀文堂（出雲市）
有限会社　堀江薬局（出雲市）
有限会社　ますや旅館（出雲市）
有限会社　丸吉商店（出雲市）
有限会社　むろや呉服店（出雲市）
有限会社　八重垣写真館（出雲市）
有限会社　八雲（出雲市）
有限会社　ゆたか亭（出雲市）
有限会社　ワスティーシステム（出雲市）
臨済宗萬年山西光寺（松江市）

（法人会員　計一二二法人）

個人会員

あ

相澤恵里（東京都）
相原孝一（東京都）
青木敦生（出雲市）
青木織恵（出雲市）
赤木直行（松江市）
阿川優太（神奈川県）
吾郷紘一（出雲市）
淺沼政誌（松江市）
浅沼美則（出雲市）
朝日山運一（出雲市）
安食光明（出雲市）
足立朱美（出雲市）
足立諭司（出雲市）
足立幹男（出雲市）
阿部泰弘（出雲市）
阿部洋子（出雲市）
荒川文雄（出雲市）
荒木達夫（出雲市）
有藤昌孝（出雲市）
飯島菊次郎（出雲市）
飯塚大幸（出雲市）
飯塚拓也（出雲市）
飯塚　傑（出雲市）
池延和規（茨城県）
池淵俊雄（出雲市）
石賀　了（大田市）
石川太郎（香川県）
石川寿樹（出雲市）
石崎弘美（出雲市）
石田豊子（出雲市）
石田裕之（出雲市）
石飛　鴻（出雲市）
石飛裕司（出雲市）
石飛義治（出雲市）
石原親二（出雲市）
石原道夫（奥出雲町）
石部陽二（出雲市）
和泉昌博（出雲市）
伊勢田翔二（東京都）
磯田祐二（出雲市）
板垣啓治（出雲市）
板垣康太（出雲市）
板垣敏幸（出雲市）
板倉富士夫（出雲市）
井谷　淳（出雲市）
出原田鶴子（大阪府）
出原義廣（大阪府）
伊藤征男（出雲市）
伊藤重子（出雲市）
伊藤崇元（出雲市）
伊藤卓爾（千葉県）
伊藤　誠（神奈川県）
伊藤昌伸（出雲市）
糸賀耕一（松江市）
糸賀行治（出雲市）
糸賀忠夫（出雲市）
糸賀　靖（出雲市）
糸原寛治（出雲市）
絲原丈嗣（奥出雲町）
稲田智之（出雲市）
稲根克也（出雲市）
井上志帆子（東京都）
今岡愛子（出雲市）
今岡克己（松江市）
今岡廣満（出雲市）
今岡　充（出雲市）
今岡　実（出雲市）
今岡盛義（出雲市）
今岡善博（出雲市）
今川和男（出雲市）
今若威征（神奈川県）
入江紀久男（出雲市）
岩井節子（出雲市）
岩井卓二（松江市）
岩井元康（出雲市）
岩石　巽（兵庫県）
岩崎美津江（松江市）
岩谷　忠（出雲市）
岩谷芙二子（出雲市）
岩成健治（出雲市）
岩見圭子（奈良県）
植田生夫（奥出雲町）
植田喜久代（雲南市）
上田浩之（出雲市）
植田由紀子（青森県）
植田佳房（兵庫県）
上野秀雄（鳥取県）
上野百合子（大田市）
宇田川和義（奥出雲町）
内田博千（東京都）
内田律雄（松江市）
江口博晴（松江市）
江角早苗（出雲市）
江田小鷹（出雲市）
江角みゆき（出雲市）
及川満里子（出雲市）
大梶明美（出雲市）
大岸弘子（兵庫県）
大国知正（出雲市）
大國雄輔（出雲市）
大隅正弘（出雲市）
太田五郎（出雲市）
太田錠次（愛知県）
太田博之（大田市）
太田幸子（愛知県）
大瀧紀子（東京都）
大瀧幸雄（東京都）
大谷香代子（出雲市）
大谷静夫（出雲市）
大出都紀子（埼玉県）
大屋　洋（大阪府）
岡　恵子（出雲市）
岡　宏三（出雲市）
岡垣雪枝（出雲市）
岡田圓隆（雲南市）
岡田昭彦（出雲市）
岡田春雄（大阪府）
岡田充哲（出雲市）
岡部康幸（出雲市）
岡村邦之（出雲市）
岡村仁樹（奈良県）
岡本東洋男（神奈川県）
小川流留孔（北海道）
小川忠行（神奈川県）
小川美樹（出雲市）
沖津世育（出雲市）
沖津範幸（出雲市）
奥原啓三（松江市）
長田圭介（出雲市）
長村博樹（東京都）
尾添敏郎（出雲市）
小村洋司（出雲市）
御菓子とみや（出雲市）

か

甲斐真一（出雲市）
海原八重子（大阪府）
影山和夫（出雲市）
影山歳行（出雲市）
陰山晴男（出雲市）
梶谷和楽（出雲市）
梶谷光弘（松江市）
春日英寿（出雲市）
勝部恵美子（出雲市）
勝部百合子（出雲市）
勝部力雄（松江市）
加藤　順（出雲市）
加藤幹夫（出雲市）
金築智子（出雲市）
金築　孝（松江市）

金築　宏（雲南市）
金築芳之（京都府）
金本晋也（出雲市）
金本武光（東京都）
金本英久（出雲市）
加村健悟（出雲市）
亀山　悟（出雲市）
亀山奈菜実（広島県）
亀山捷利（宮崎県）
亀山美雪（出雲市）
亀山結実菜（出雲市）
嘉本直樹（出雲市）
榧野　尚（松江市）
烏田富夫（出雲市）
川上英男（出雲市）
川嶋ひろみ（和歌山県）
川島芙美子（松江市）
川谷琴子（出雲市）
川谷誠一（出雲市）
川谷貴子（出雲市）
川谷貴大（出雲市）
川谷トヨ子（出雲市）
川谷美琴（出雲市）
川本貢功（松江市）
神田　弘（兵庫県）
神田幸則（出雲市）
木佐明宏（出雲市）
木次井悠介（出雲市）
北井加代子（出雲市）
北井征二（兵庫県）
北井武志（出雲市）
北島建孝（出雲市）
北原郁子（松江市）
北吉チヨミ（大阪府）
木村　進（出雲市）
共同店（大國美矢子）（出雲市）
喜和田公二（出雲市）
金時堂株式会社（雲南市）
金鳳酒造有限会社（安来市）
草谷和子（出雲市）
草山由梨（神奈川県）
熊山仁志（邑南町）
黒崎寿政（出雲市）
黒田郁子（出雲市）
黒目潤子（出雲市）
黒目光正（出雲市）
桑原健一（出雲市）
桑本　巌（出雲市）

小池清尹（出雲市）
神門貞良（出雲市）
神門應勝（出雲市）
幸野谷昌人（京都府）
郷原　勇（雲南市）
小梶小百合（出雲市）
小梶輝枝（出雲市）
後藤　博（松江市）
後藤昌弘（出雲市）
小林一生（出雲市）
小林俊介（出雲市）
小林祥泰（出雲市）
古福克彦（出雲市）
小松博幸（出雲市）
木幡育夫（松江市）
木幡　均（松江市）

さ

斉藤聡次郎（出雲市）
佐伯善巳（岡山県）
坂根京子（出雲市）
坂本　隆（出雲市）
坂本正人（出雲市）
櫻井誠己（松江市）
佐々木博（北海道）
佐々木昌延（浜田市）
佐竹俊幸（埼玉県）
佐藤收男（出雲市）
佐藤辰巳（出雲市）
佐藤槇子（出雲市）
佐藤陽一（出雲市）
佐藤巻良（出雲市）
品川知彦（松江市）
篠原春夫（三重県）
志摩茂樹（山形県）
シマネヤ眼鏡店（飯島健太）（出雲市）
清水義久（神奈川県）
昌子宗賢（松江市）
神社ガールズ研究会（河野美知）（松江市）
新　博治（広島県）
新　安祐（広島県）
新宮清志（東京都）
宍道正年（松江市）
新藤正春（出雲市）
杉谷桂子（出雲市）
杉谷　城（奈良県）
杉谷寿之（出雲市）
杉原元治（出雲市）
杉本　照（和歌山県）
須佐和夫（出雲市）

須佐公和（出雲市）
鈴木登美子（神奈川県）
鈴木益彦（松江市）
須谷　洋（出雲市）
周藤祥三（出雲市）
角　篤（出雲市）
陶山　章（出雲市）
妹尾圭人（出雲市）
妹尾佳明（東京都）
千家昭子（出雲市）
千家礼子（出雲市）
千家活彦（東京都）
千家国麿（出雲市）
千家統子（東京都）
千家尊祐（出雲市）
千家真彦（大阪府）
千家寛彦（神奈川県）
千家隆比古（出雲市）
千家典子（出雲市）
千家徳比古（出雲市）
千家幸子（大阪府）
千家由美（出雲市）
千家和比古（出雲市）
千家敬麿（大阪府）
曽田明雄（出雲市）
曽田賢一（出雲市）
曽田暢雄（出雲市）
曽田安信（出雲市）
園山和美（出雲市）
園山暢男（出雲市）
園山幹生（埼玉県）
園山雄一郎（出雲市）
園山幸雄（松江市）

た

大社門前いづも屋（出雲市）
高木玄明（出雲市）
高木秀輝（出雲市）
高野一三（出雲市）
高橋　正（出雲市）
高橋敏道（出雲市）
高橋朋子（東京都）
高橋直裕（出雲市）
高橋正和（出雲市）
高橋成知（出雲市）
高橋陽子（滋賀県）
高見初彦（出雲市）
竹下孝子（松江市）
竹下忠幸（出雲市）
竹下正孝（出雲市）
武田寿博（出雲市）

武田紀子（出雲市）
竹並　清（茨城県）
多々納テル子（出雲市）
立久恵音頭保存会（安喰公美）（出雲市）
立花佑祥（出雲市）
立花直明（出雲市）
田中和彦（出雲市）
田中勝洋（長崎県）
田中富雄（出雲市）
田邊達也（出雲市）
谷本隆臣（大田市）
多根美奈子（出雲市）
玉井浩邦（松江市）
玉木屋印刷（青木治）（出雲市）
千熊正憲（大阪府）
土江志朗（出雲市）
津戸弘光（出雲市）
津戸雅志（東京都）
常松　豪（出雲市）
都間正隆（雲南市）
鶴見　誠（出雲市）
手錢白三郎（出雲市）
手錢　豊（出雲市）
出水明子（大阪府）
東條京子（福島県）
東條　勝（福島県）
藤間　武（出雲市）
富岡由美子（東京都）
豊田啓司（松江市）

な

内藤篤雄（出雲市）
内藤久義（出雲市）
直良昌幸（出雲市）
中美智子（出雲市）
中泉　淳（東京都）
中尾克行（出雲市）
中尾健二（出雲市）
長岡呉服店（出雲市）
長岡　栄（出雲市）
永岡達朗（出雲市）
長岡義孝（東京都）
長廻三枝子（出雲市）
中島隆広（京都府）
中島雄三（出雲市）
中筋映子（出雲市）
中筋豊通（出雲市）
中筋廣昭（松江市）
中筋雄三（出雲市）
永瀬崇之（出雲市）

永田悦子（出雲市）
永田靖一（大阪府）
永田正巳（出雲市）
永田幸弘（出雲市）
永見饒子（大阪府）
中道豪一（広島県）
中山光夫（邑南町）
柳楽愛子（出雲市）
柳楽正雄（出雲市）
奈良井律子（出雲市）
成相和代（出雲市）
成相有一（出雲市）
成瀬敏郎（出雲市）
西家秀夫（出雲市）
西尾哲郎（出雲市）
西岡敦子（岡山県）
西岡和彦（神奈川県）
錦田剛志（出雲市）
錦田充子（出雲市）
錦織稔之（出雲市）
西田新治（福岡県）
西山順子（出雲市）
野田　清（出雲市）
野津登美子（出雲市）
登川文一（沖縄県）

は

長谷川宗輔（大阪府）
畑美穂子（出雲市）
服部泰直（松江市）
花田敦子（出雲市）
花田史朗（出雲市）
花田智治（出雲市）
早川正樹（雲南市）
林　秀樹（出雲市）
林　幹夫（松江市）
原　智美（出雲市）
原　哲夫（出雲市）
原　幹雄（出雲市）
春木英二（出雲市）
土方幸子（出雲市）
日野　正（出雲市）
平岡邦彦（出雲市）
ひらの屋　平野裕二（出雲市）
廣江俊邦（松江市）
廣澤將城（出雲市）
福川裕徳（高知県）
福田橘実香（出雲市）
福田隆男（出雲市）
福田文夫（鳥取県）
福田真喜子（出雲市）

福田　実（出雲市）
福間　進（大阪府）
福間崇夫（出雲市）
福間利行（出雲市）
福間質文（出雲市）
福村範子（松江市）
藤井健司（出雲市）
藤井孝三（出雲市）
藤井丈治（広島県）
藤井隆弘（広島県）
藤井寿男（出雲市）
藤井正成（広島県）
藤井雄治（出雲市）
藤井雄四郎（出雲市）
藤井幸恵（出雲市）
藤井　豊（出雲市）
藤江啓子（出雲市）
藤田佳子（千葉県）
藤原久一（奥出雲町）
藤原章司（出雲市）
藤原　徹（出雲市）
藤原秀彬（出雲市）
伏見利雄（神奈川県）
伏見梨花（神奈川県）
藤村八郎（出雲市）
藤本和人（山梨県）
藤本　祥（埼玉県）
藤本　剛（出雲市）
古川百三郎（出雲市）
古瀬修一（松江市）
古瀬智彦（松江市）
古瀬倶之（出雲市）
古橋麻美（愛知県）
古屋勤士（出雲市）
古山房雄（松江市）
別火龍一（出雲市）
別所親房（京都府）
別所豊夫（出雲市）
細木辰幸（雲南市）
法橋美智子（出雲市）
本田研治（出雲市）

ま

前島和枝（出雲市）
前田流依（出雲市）
槇原政治（出雲市）
増浦行仁（大阪府）
松井邦江（出雲市）
松井惠治（出雲市）
松井笙悟（東京都）
松井周子（出雲市）
松井　誠（出雲市）

松井裕子（出雲市）
松井好夫（出雲市）
松崎忠司（奥出雲町）
松崎道子（出雲市）
松崎みどり（奥出雲町）
松崎幸枝（奥出雲町）
松田泰典（出雲市）
松戸恵美子（出雲市）
松永寿江（松江市）
松野亘芳（岐阜県）
松原廣美（出雲市）
松本岩雄（松江市）
松本健志（出雲市）
松本俊憲（出雲市）
松本敏浩（出雲市）
松本倫枝（大田市）
的野克之（益田市）
馬庭孝司（出雲市）
水野二郎（滋賀県）
三成礼次（兵庫県）
三原順一（出雲市）
三原順子（出雲市）
三原伸二（出雲市）
三原道夫（出雲市）
三村智彦（千葉県）
宮崎照司（静岡県）
宮里慎二郎（大田市）
宮本壽充（出雲市）
宮本泰行（出雲市）
森　眞史（松江市）
森口正夫（邑南町）
森田勝瀧（高知県）
森廣　操（出雲市）
森本いく子（松江市）
森本　淳（松江市）
森本直知（出雲市）
森山公晴（出雲市）
森山真吉（出雲市）
森山由美（出雲市）
森脇哲之（松江市）

や

矢島健一（千葉県）
矢田和則（出雲市）
矢田信一（出雲市）
奴（原田優）（出雲市）
山崎敦子（出雲市）
山崎一夫（出雲市）
山崎敬子（出雲市）
山崎酒店（出雲市）
山崎茂樹（出雲市）
山崎七重（出雲市）

山崎延行（出雲市）
山崎泰弘（出雲市）
山崎裕二（出雲市）
山下　信（鹿児島県）
山田聖子（神奈川県）
山根正明（松江市）
山根宮子（出雲市）
山根幸文（出雲市）
山本章治（大阪府）
山本智幸（東京都）
山本　浩（東京都）
山本勇二（出雲市）
山本　豊（京都府）
八幡一寛（大田市）
有限会社　ギフトながさこ（出雲市）
祐源澄子（出雲市）
祐源泰成（出雲市）
横山雅樹（岡山県）
吉川敏夫（出雲市）
吉川直喜（出雲市）
吉川　實（出雲市）
吉田勝彦（出雲市）
吉田敏夫（出雲市）
吉田安子（出雲市）
吉田利江（雲南市）
吉野直人（岐阜県）
吉野洋克（出雲市）
吉原毎文（東京都）
珍部千裕（神奈川県）
米田拓朗（出雲市）

わ

若月剛久（出雲市）
若槻俊二（出雲市）
若槻芳充（出雲市）
和田晶夫（出雲市）
和田晋爾（松江市）
和田節子（出雲市）
和田統彦（松江市）
和田秀穂（出雲市）
渡邊憲治（京都府）
渡部良治（出雲市）
渡部良平（松江市）

（個人会員　計五二三名）

寄附

山崎裕二（出雲市）
大社史話会（出雲市）
中筋映子（出雲市）
神門貞良（出雲市）
梶谷光弘（松江市）

あなたが支える「出雲」文化！

先人たちから受け継いだ美しい自然風土や歴史、伝統文化を現代に生かして地域の活性化に結び、それを子孫に橋渡しをする担い手になることを使命とします。

会員を募集しています！

◆入会について

会費は、年度制（４月～翌年３月）です。いつでも入会できます。
※「出雲」文化を愛し、文化の保存継承に賛同いただける方は、どなたでも会員になれます。
（注）ここでいう「出雲」とは狭義の出雲ではなく、隠岐から石見までを含む幅広い地域を想定しています。

◆会員の種類・年会費

正会員（個人）一口　2,000 円　　正会員（法人）一口　20,000 円（何口でも結構です。）

◆会員の待遇

○会員証をお送りします。
○下記の協賛施設にて会員証を提示いただくと、優遇措置が受けられます。
・出雲大社宝物殿（拝観料無料、翌年４月末まで有効です）
・出雲文化伝承館、平田本陣記念館（観覧料 100 円引き）
○定期的に会報「財団いづも」をお送りします。
○三口以上の年会費をお納めいただいた個人会員には、会報にあわせて直近に出版した著書（いづも財団叢書）を贈呈いたします。

◆入 会 方 法

１、会員申込資料を電話かファックス、葉書、メールにてご請求ください。
　　または、直接いづも財団事務局までおいで下さっても結構です。
２、送付された入会申込書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒または
　　ファックスにてお送りください。
３、下記口座のいずれかへ会費をお振込ください。

【郵便局】（現金振込みの場合は加算料金がかかります）
同封の郵便局払込票にてお振込ください。
郵便振替口座番号
０１３６０－９－５５４１７
口座名　「公益財団法人いづも財団」
（コウエキザイダンホウジン　イヅモザイダン）

【銀　行】（手数料はご負担願います）
山陰合同銀行　大社支店
普通　３６２８９７３
口座名　「公益財団法人いづも財団」
（コウエキザイダンホウジン　イヅモザイダン）

お問い合わせ
〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東283 大社國學館内　公益財団法人 いづも財団事務局
電　話：0853-31-4346　FAX：0853-31-4348　E-mail：info@izumozaidan.or.jp